

標 題： Adherence to a Mediterranean Diet and Thyroid Function in Obesity:
A Cross-Sectional Apulian Survey.
肥満における地中海食事の順守と甲状腺機能： プーリア州での横断調査

著 者： R. Zupo, et al. (イタリア 国立消化器学研究所一附属病院
Salus in Apulia Study[プーリア研究] 公衆衛生ユニット)

掲 載 誌： Nutrients. 2020 Oct 16; 12(10): 3173.

要 旨：

背 景： 地中海地方の食習慣および生活様式は慢性疾患のリスクに対抗に寄与してさらに長寿を促進すると多くの研究が示唆している、しかし特に過体重/肥満対象者の間における甲状腺機能に対する地中海食事の影響に関する情報は僅かしか入手できない。

それにもかかわらず、肥満において甲状腺刺激ホルモン(TSH)血清値の微増およびチロキシン(T4)からトリヨードロン(T3)への転換の高い比率を、一貫性のあるデータが報告した。

この横断研究は、プーリア州(南部イタリア)出身の過体重/肥満対象者のコホートで、地中海食事の順守と血中甲状腺ホルモンとの間の関連を調べることを、我々は目的とした。

方 法： 薬物治療を受けてなく甲状腺ホルモンの正常値を示しているが過体重と肥満を合併している(BMI \geq 25Kg/m²) 324人の継続外来被験者(女性228人と男性96人、年齢範囲14-72歳)で我々は研究した。

PREDIMED (PREvención con DIeta MEDiterránea)アンケートを横断的に実施して地中海食事の順守を評価し、そしてホルモン、代謝、および所定の検査値を収集した。

結 果： 地中海食事の高い順守は、遊離の T3(p<0.01)および T4(p<0.01)の血清値と逆相関すると認められた。

PREDIMED アンケートの各項目で考えると、少なくともスプーン4杯のエクストラバージンオリーブ油を1日に摂取する人々、および少なくとも2回分の野菜を1日に摂取する人々は、低い遊離 T3 値であった(それぞれ、p0.033 および p0.021)。

さらに、少なくともスプーン4杯のエクストラバージンオリーブ油を1日に摂取することは、低い遊離 T4 血清濃度と関連すると認められた(p0.011)。

地中海食事との関連をさらに調べるために甲状腺ホルモンの3段階で実施した多項ロジスティック回帰モデルは、遊離 T4 だけ有意と裏付けた。

結 論： 地中海食事順守の上昇は少し低下した甲状腺機能と独立して関連したが、遊離の T3 および T4 血清値の参照範囲内のままであった。

この分野におけるこの最初の研究結果は、基本的な生物学的相互作用に関する研究方針を切り開く。

キーワード： イタリア、地中海食事、肥 満、甲状腺ホルモン
